

ニヌファブシ

首里城下町クリニック 第一・那覇西クリニック・那覇西クリニックまかび

共同発行情報誌
vol. **20**
2016

20号

ANNIVERSARY



Information magazine **“NINUFABUSHI”**

「にぬふあぶし」とは沖縄の方言で北極星の意味です。「ていんさぐの花」にも歌われるように灯りの無い昔、人々は北極星を道しるべにしていました。そんな北極星のように、那覇西、首里城下町、両クリニックが地域に根ざし、皆様から慕われるような病院でありたいという思いがこめられています。

ニヌファブシ 20号に寄せて

那覇西クリニック 理事長 玉城 信光



玉城 信光

診療所が連携をしながら広報誌を出していくことを提案し「ニヌファブシ」第1号が発行されました。首里城下町クリニックと那覇西クリニックの姿が生き生きと掲載されており、患者さんからも高い評価を受けており、発行して良かったと思っています。

私たちのクリニックも開院から20年になり、新しい時代に向かって進んでいます。

病気にならないに越したことはないのですが、少しでも健康に不安が出たら、信頼できる「かかりつけ医」に相談しましょう。私たち乳がんの専門医も心臓病や胃腸の検査、整形外科の手術に関する相談も「かかりつけ医」として専門の先生を紹介しています。また乳がんの早期発見や治療にも力を入れていて、開院以来3,900名ほどの手術をさせて頂きました。乳がんの80%以上は再発もせず元気になります。早期発見なら90%以上なのです。検診を受けてがんを早期に発見することが大切です。

また当院内科では糖尿病の悪化からくるじん臓病への対応や生活習慣病への対策もしています。気楽に相談をして病気の悪化を予防しましょう。

また看護師さんをはじめ放射線科、検査科なども学会でたくさんの発表をしてきました。一部はアメリカの学会でも発表して好評を受けています。

沖縄県の皆さんに最新の医療を届け、最新の治療を届けることを使命にこれからも努力していきます。皆様の応援とご指導をお願いいたします。

那覇西クリニック 名誉院長 照喜名 重治



照喜名 重治

首里城下町クリニックと那覇西クリニックの共同広報誌、ニヌファブシも20号を発行することができました。読者の皆さんのご支持が無いと続けられませんでした。感謝申し上げます。

さて我が那覇西クリニックもオープンしてから20周年を迎えることができました。当初は23人でスタートしました。医者は玉城先生と僕の2人、看護部門が12人、検査部門が2人、放射線部門が1人、事務部門は医者の奥さん2人を含めて3人、外来受付が1人、助手さんが2人の総勢23人でした。その後9周年にはまかびが開院し、現在は両クリニック合わせて70人近くの大所帯になっています。

外科の医師は4人になりましたが、内科の医師はまだ僕1人です。腎臓病や透析治療、高血圧、糖尿病、生活習慣病などの診療を行ってきました。透析に関しては旅行などで沖縄にいらした患者さんの臨時透析も含めると、20年で延べ115人の患者さんの透析治療を行いました。

クリニックでの診療の現場では言うまでも無く患者さんが主役です。我々は患者さん御自身が、御自分の病気を理解し納得し、どう病気に対応すればいいか、またどんな治療をすればいいのかを御自分で決定できるようにお手伝いするのがモットーとしています。

我々スタッフ自身や家族が病気になった場合にも自らの治療をゆだねたい病院になれるようにこれからも頑張っていきたいと思います。皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



勤続20年の職員による「かぎやで風」で幕を開け、会場の皆さんをわかせてくれました。



ひまわりの会による合唱



玉城先生、照喜名先生のいい笑顔です。

那覇西クリニック20周年パーティ

in 2016.5.21

おかげさまで那覇西クリニックは、今年で20周年を迎えることが出来ました。去った5月21日に日頃お世話になっている方々をお招きして、記念パーティーが行われ、

今年勤続20年の職員による『かぎやで風』で幕を開けました。

勤続20年の職員、勤続10年の職員の表彰式や那覇西クリニックの患者会『那覇西ひまわりの会』による合唱。那覇西クリニック職員による民謡ショーを行い、最後は会場全員でのカチャーシーで幕を閉じました。



勤続20年のスタッフのみなさん



勤続10年のスタッフのみなさん



那覇西クリニックの職員による民謡ショー 素晴らしい演奏を奏でてくれました。



会場全員でのカチャーシー-q(^-^q)

沖縄のすみずみプロジェクト

— 沖縄県の市町村津々浦々のご訪問講演活動 —

那覇西クリニック

診療部長 玉城 研太郎



玉城 研太郎

皆様いかがお過ごしでしょうか？那覇西クリニックの玉城研太郎です。那覇西クリニックはおかげさまで創立20周年を迎えることができました。皆様に支えられ20周年を迎えることができまして、心より感謝致しますとともに、沖縄県の皆様にさらに貢献できますよう日々精進してまいりたいと思います。

さて今日は那覇西クリニックが行ってまいりました「沖縄のすみずみプロジェクト」についてご紹介したいと思います。本事業は端的に申しますと、沖縄県内の市町村津々浦々にご訪問させて頂き、地域の皆様に講演をさせて頂き、また皆様の疑問にお答えするといった活動でございます。何故このような活動を始めたのか。実は2010年の都道府県別年齢調整死亡率で沖縄県は乳癌死亡率が全国2番目に高いという結果が出ました。その原因を解析いたしますと1. 早期発見早期治療が十分に浸透していないということ、2. 沖縄県の地理的あるいは社会経済的な側面、3. 適正治療・補完代替医療（民間療法）の問題などが明らかになってまいりました。とにかく県民の皆様に正しい情報をお伝えすることは大変重要だと思ひまして、現在このような活動をさせて頂いているところです。

県内色々な場所をご訪問させて頂きました。那覇市や沖縄市、宜野湾市、浦添市、豊見城市、南城市、糸満市などの都市群には何度もお伺いさせて頂きまして講演の機会をたくさん頂きました。また離島でもたくさんの機会を頂きまして、石垣市、宮古島市には何度もお伺いしましたし、竹富町、久米島町、伊江村そして与那国町にもお伺いさせて頂きました。人数も10名くらいから1000人近い皆様の前で話をさせて頂いたこともございました。

とにもかくにも、多くの県民の皆様に正しい情報を知って頂きたいと思っております。まずは基本中の基本ですが、早期発見早期治療にまさる治療薬はございません。ですので是非多くの皆様に乳がん検診を受けて頂きたいということをお伝え致しております。そして残念ながら離島地域や北部などに乳癌の専門医がいないといった状況で、空港に

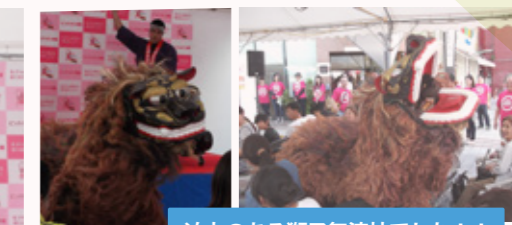
隣接する那覇西クリニックの役目は大変大きいものがあり、乳腺でお困りの際は遠慮なくご相談頂けたら幸いですといったお話もさせて頂いております。そして治療で大変重要なことは正しい治療を受けて頂くということで、そのことで乳がんにおける予後が大きく変化してきます。正しい治療の重要性に関しましても強くメッセージを発信させて頂いております次第です。

講演料・旅費等は一切頂いておりません。皆様の地域にお招き頂けることがございましたら喜んで馳せ参じたいと思ひますのでお気軽にお声掛け下さい。



ピンクリボン沖縄2016

去る10月2日にピンクリボン沖縄2016が、てんぶす会館前にて開催されました。今年もたくさんのお出演の方が会場を賑わせてくれました。獅子舞の演舞から始まり、さつき小学校の合唱や、高校生ダンスグループ「PARM」のダンスショー、人気アイドルグループのフリコピダンスを披露してくれました。毎年恒例のクラウンコトラさんによるパフォーマンスショーも行われ、親子連れにも楽しいイベントになりました。今年もたくさんのご参加、ご支援ありがとうございました。



迫力のある獅子舞演技でした！！



さつき小学校合唱部のみなさん、発表もよくできていました！



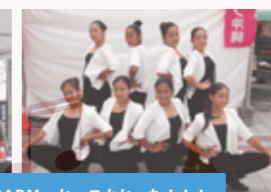
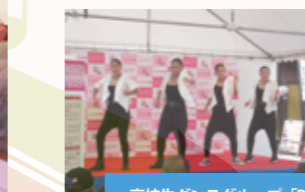
初司会、余裕のカメラ目線ですww



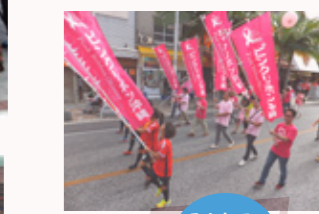
スタッフの皆さんおつかれ様でした



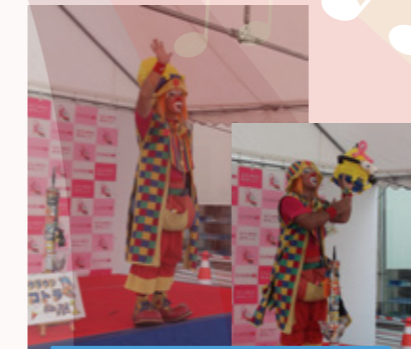
AKTBの皆さん、完璧なダンスでした！



高校生ダンスグループ「PARM」かっこよかった！！



みんなでピンクウォーク！！



欲しい人、手を挙げて～(笑)



沖縄ヤクルトの皆様



日本エステティック協会の皆様

いっおっぱい4か条
おおきく丸を描く様に
つづる時は
要注意！
はり
念入りに！
ちも
ツェ
セル
クル
を！



新入職員

ご紹介!



砂川 秋奈

8月からメディカルクラークとして勤務しています。医療現場の仕事は初めてで分からないことはいっぱいですが、しっかりと皆さんをサポート出来るよう、日々勉強し頑張ります。よろしくお願い致します。



長嶺 淳子

8月から産休補助として医事課に勤務しております。初めての診療科で、覚える事がたくさんありますが、周りのスタッフのサポートのお陰で、安心して日々の業務にとりこんでいます。皆様のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



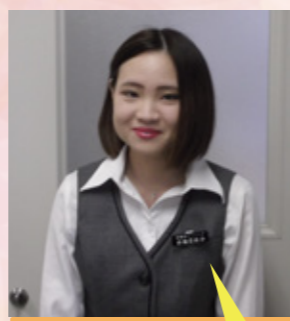
泉川 涼子

9月末から病棟勤務になりました。専門分野で分からない事が多々あり、周りのスタッフに支えられ、学びながら働いております。持ち前の明るいキャラで笑顔を忘れず、安全で心がもった看護が提供できるよう、頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



上原 芹香

こんにちは。みなさんに毎日満足して頂けるような、おいしい食事を提供できるよう頑張ります。宜しくお願いします。



赤嶺 百莉沙

今年8月から勤務させていただくことになりました。分からない事だらけでご迷惑をおかけするかと思いますが、先輩方にご指導を受けながら一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

『食を考えるコーナーの活躍』

「食を考えるコーナー」には調理師玉城久美子さんが常勤しています。管理栄養士のカエ先生と料理教室を開催して、食材の選び方・料理の工夫・買い弁当・外食選びのポイントなど、食生活に役立つ情報を提供しています。



私が作ってまーすv(^o^)v

おいしくなあれ♪
おいしくなあれ♪

玉城さん



カエ先生とメニュー考案中



2016年度 慰安会

今年の4月16日に慰安会がありました。ボウリング大会と食事会が開かれ今年たくさんの職員の子供たちが参加し順位発表の際には、子供たちが舞台上上がり、上位入賞者を祝福してくれました!!



マルコメ3兄弟!!!やる気十分です。



優勝するぞ〜!!!



宮里事務長の挨拶



後ろの職員のリアクションが気になります



鎌田先生、始球式お願いします!



美味しい料理の前に三世代スマイル!



照喜名先生、宮里事務長ナイス笑顔です(笑)



母親達も写真撮影に必死です(笑)



鎌田先生、上原先生お疲れ様でした!

厨房の紹介



知念さん

大城さん

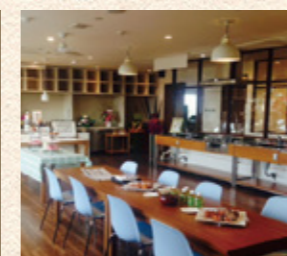
吉田さん

笑顔で愛情いっぱいの透析食を提供しています。



とある日の透析食

KAE project



開院当初より栄養指導を担当している管理栄養士・健康運動指導士伊是名カエさんが沖縄県の健康長寿復活、県産食材の消費拡大を目的とした「沖縄発!地産地消&健康改革の連携プロジェクト」を読谷村にリニューアルOPENしました。料理教室、運動教室、食農教室等、多岐にわたり充実しています。詳しくは<http://www.tepo.jp>まで。



ニヌファブシ20号に寄せて 今考えていること

～肥満沖縄から超高齢社会まで～

当院が開院して15年になる今年、那覇西クリニックと共同で発行を開始した本広報誌がちょうど20号を発刊するのは、偶然とはいえ、節目を迎えたことを実感しています。当時の職員が「世界中のどこから見ても道しるべとなる“北極星”のようなクリニックを目指そう!」という意味を込めてネーミングしてくれました。

15年間多くの患者さんと診療で関わり、又たくさんの方々と交流してきました。開院以来、現在も通院している方がおり、最近では90歳を超える方が増えてきました。一方で、残念ながら亡くなられた方々も多くいらっしゃいます。私は開業した時から「一人でも多くの方々と長い間、お付き合いしたい」と考えています。患者さん

一人ひとりに起こる身体の変化や患者さんの置かれている環境の変化は、私たち医療者に多くのことを教えてくれます。この15年間、日々の診療は私にとって常に新鮮であり、勉強になっています。これまで医療の現場で経験してきたことを、“今日”診療する患者さんの健康維持のために少しでも役立たせることが出来ればと常に考えています。

かかわってきた方々との過去を振り返りながら、今、私たちに必要とされていることを考え、未来志向的に目指していくべき道を探していくことは大切なことです。この15年間は肥満が招いた沖縄の健康問題に取り組むことが、沖縄の保健・医療の最優先課題でした。勿論、この問題は今も続いています。そして、現在は超高齢社会の中で我々医療者がどのような医療

を提供すべきかを考えることが最重要課題になってきています。

一人の医療者に出来ることには、おのずと限界があります。しかし、それぞれの持ち場で頑張っている医療者の個々の力をまとめてネットワークを形成することが出来れば、それは大きな力になります。クリニックの運営においても、医師会においても、そのことを念頭に取り組んできました。そして、社会で起こる問題の内容によっては、それぞれの持ち場の英知を結集して取り組まなければ答えが見いだせないものもあると思います。日本が迎えている超高齢社会において、一人ひとりが幸せな最期をどう迎えることが出来るかを考えていくことは、この類の問題ではないかと考えています。具体的には、核家族化・高齢世帯の増加という社会状況の中での在宅医療をはじめとする医療供給体制、通所介護のみならず入所可能な介護施設の供給体制、そしてそれを支える現場が疲弊しない救急医療体制の在り方などを考える必要があります。これらの方向性を国民の納得・合意の上で進めていくには、一人ひとりが終末期医療の在り方を真剣に考え、議論することが必要だと思っております。

多くのご高齢の先輩方の手や腕を日々握り、励みながら、私が医療人として出来ること、やるべきことを考え、進めている毎日です。解決しないこともあり、悩みながらも一人おひとりに向き合っています。診療の際でも、また普段着の私を見かけた時にでも、皆さまのお考えをお聞かせください。皆さまの貴重な声が、私たち医療者が目指すべき道筋を照らして下さることがあります。共に考え、語り合っていきましょう。



首里城下町クリニック第一
田名 毅 院長



研修医

保良 仁美



みなさん初めまして。那覇市立病院研修医2年目の保良仁美と申します。今回地域医療研修の一貫として、首里城下町クリニックにて主に先生方の外来、透析について勉強させていただきました。1か月間という短い期間ではありましたが、本当に多くのことを学ばせていただきました。

とても印象に残っているのは、患者さん方が田名先生、比嘉先生を始めとする首里城下町クリニックの先生方ととても親しくお話しをされている様子でした。研修医になってからは急性期の入院病棟に関わることが多かったため、数か月に一度かかりつけ医である先生方に会いに来て自分の体の状態について確認し、さらに世間話から悩み相談までお話しを、ほっとした様子で診察室を後にしていく姿はとても印象的でした。さらに地域講演会、お料理教室、ラジオ出演にも参加させていただき、診療に加えて多くのことに取り組んでいる首里城下町クリニックについてを知り、地域との結びつきの強いかかりつけ医、クリニックについて勉強することができました。今回の研修で関わって頂いた先生方、職員の皆さん方、患者さん方、本当にありがとうございました。今後もっともっと勉強に励み、首里城下町クリニックの先生方、職員の皆さんに少しでも近づけるように頑張りたいと思います。



学会で発表してきました!

当院スタッフは、毎年各地で行われる研究会や学術集会で研究発表をしています。

今年の3月に、沖縄コンベンションセンターで行われた『沖縄県人工透析研究会』で、糖尿病専門医の新川葉子先生、看護師主任の當眞嗣幸さん、看護師の浦崎悦子さん、6月には、大阪で行われた『日本透析医学会学術集会・総会』で、第二院長の比嘉啓先生、透析技士の柴田幸世さんが発表しています。今後も日々の業務にとどまらず、研鑽しまとめ、発表し、また、会に参加して多くの先進的な知識と技術を学んで患者さまへ還元できるよう努めていきます。

【第34回 沖縄県人工透析研究会】

発表者	演題
新川葉子	「若年透析導入症例（糖尿病性腎症）に関する多施設」アンケート調査についての御協力依頼
當眞嗣幸	基幹病院サポート下の腹膜透析患者の一症例
浦崎悦子	当院におけるセルフケア支援

【第61回 日本透析医学会学術集会・総会】

発表者	演題
比嘉 啓	当院の維持透析におけるダブルペロイエチン (DA) 5μg 変更使用後の管理の変化
柴田幸世	当クリニックにおける火災訓練の実際 - 安全な患者指導、搬送を目指して -



恒例となりました「カーラ会夏祭り」。
 今回で8回目を迎えました。
 近隣クリニック(おおみじゃ眼科、かず整形外科、
 松城クリニック、首里城下町クリニック)の
 スタッフと地域の方々が、普段着で交流できる
 場として、2年に一回開催しています。

司会者控え室



かんぱ〜い!

第八回
カーラ会夏祭り
 平成28年6月25日(土)

ステージ

第二クリニックスタッフによる
フラダンス〜♪



会場は、大盛況! 満員です(∩o∩)



ドリンク販売チームもがんばりました



“塩分アンケートもしましたよ”



“みなさん、楽しんでくださ〜い!”



金魚釣れるかなあ・・・



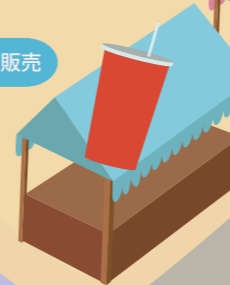
“バザー掘り出し物ありましたか?”



“血圧測定しますね〜”



ドリンク販売



琉球キングス津山選手もドリンク販売お手伝い



ニヌファブシ 広報委員紹介



首里城下町クリニック
新垣 美樹

首里城下町クリニック
新垣 香織

那覇西クリニック
新垣 美羽

那覇西クリニック
古見 美也子

首里城下町クリニック
中山 恵理子

首里城下町クリニック
佐久本 薫

首里城下町クリニック
大濱 健太

首里城下町クリニック
當眞 嗣幸

那覇西クリニックまかび
長浜 謙太

今回のニヌファブシは発刊20号記念号ということで、先生方を表紙にと、ちょっと凝ってみました。

これからも『ニヌファブシ』は夜空を照らすべく皆さまの道しるべになれるよう、よりよい情報誌を作っていきたいと思えます。



編集会議風景 (みんな真剣そのものです)

20号

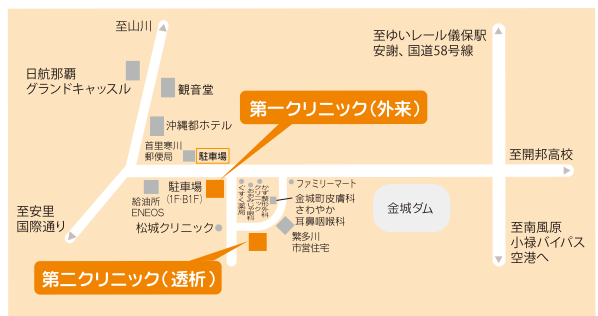
ANNIVERSARY

infomation

医療法人 麻の会 首里城下町クリニック

第一クリニック (外来) 内科 (高血圧・糖尿病・脂質異常症) 腎臓内科・透析 循環器科・リウマチ膠原病科

第二クリニック (透析) 血液透析 (外来)



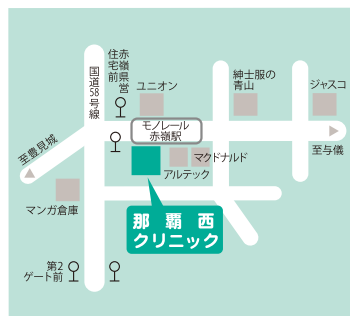
第一
〒902-0062 那覇市松川3丁目18番30号
TEL.098-885-5000
FAX.098-885-5007
受付時間 8:30~12:00/13:30~17:30
土曜日 8:30~12:00
休診日 日曜・祝祭日・年末年始 (12/31~1/3)

第二
〒902-0071 那覇市繁多川3丁目5番18-4号
TEL.098-833-1001
FAX.098-833-1006
受付時間 8:30~17:30
休診日 日曜
※月・水・金は夜間透析も行っています。

<http://www.shuri-jc.jp>

医療法人 那覇西会 那覇西クリニック

内科・外科・胃腸科
人工透析・乳腺外来
甲状腺外来

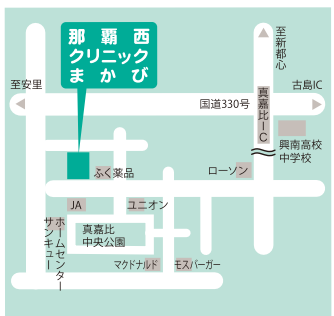


〒901-0154 那覇市赤嶺2-1-9
TEL.098-858-5557
FAX.098-858-5552
受付時間 8:30~11:30/13:30~17:00
木曜日 8:30~11:30
休診日 日曜・祝祭日

<http://www.naha-nishi-clinic.or.jp/>

医療法人 那覇西会 那覇西クリニックまかび

乳腺・甲状腺外来



〒902-0068 那覇市真嘉比2-29-22
TEL.098-884-7824
FAX.098-884-7820
受付時間 8:30~11:30/13:30~17:00
木曜日 8:30~11:30
休診日 火曜日・日曜・祝祭日